



相川小学校は 多くの皆様に 支えられています



相川小学校は、学校の職員だけでなく、地域の皆様、保護者の皆様、各種団体の皆様のご協力に支えられ、教育活動を高めています。11月27日に、2年生が「もっとなかよし町探検」を行いました。相川地区の交番、寺院、神社、商店、消防署、温泉、郵便局を見学させていただきました。ご多用の中ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。貴重な学びの機会をありがとうございました。

今回の学校だよりでは、皆様に支えられた相川小学校の教育活動を紹介します。



総合的な学習「小正月を知ろう」

地域の皆様にご来校いただき、小正月について教えていただきました。5年生は、岩窪自治会や、獅子舞保存会の皆様に、和楽器の演奏や獅子舞を見せていただきました。6年生は、塚原・小松自治会の皆様に、写真や資料を見せていただきました。4年生は、和田町伝統行事保存会の皆様に、おやなぎづくりを教えていただきました。地域の伝統行事を守っている皆様から直接のご指導をいただき、各地域で行われる小正月行事への関心が高まりました。

1年生「昔の遊びでふれ合おう」

相川シニアクラブ23名の皆様にご来校いただき、1年生生活科「昔の遊びでふれ合おう」の指導をしていただきました。メンコ、お手玉、竹馬、あやとり、コマ、けん玉のグループに分かれて、シニアクラブの皆様に遊び方やコツを教えていただきました。昔の遊びを教えていただいただけでなく、地域の皆様と触れ合うことができた貴重な1時間でした。



4年生バリアフリー教室



12月12日には関東運輸局の皆様にご協力いただき、4年生のバリアフリー教室を開催することができました。体育館に車椅子と体験用のコースを用意していただき、車椅子の乗り方や、補助の仕方を体験しました。また、視覚障害者誘導用ブロックを体育館のフロアに敷設していただき、白杖を使った歩行や補助の仕方を体験しました。机上の学習だけでなく、実際に体験し、バリアを感じる方々の心情を理解したり、補助の仕方を学んだりすることができました。ご協力いただいた運輸局の皆様には感謝申し上げます。



児童会役員選挙



12月8日に児童会役員選挙の立会演説会と投開票が行われました。3年生の職員を中心とした指導者とともに、選挙管理委員会の児童が計画・運営を担い、この日を迎えました。体育館でみんなが参集して行う立会演説会は、4年ぶりです。演説を聴く児童の態度も素晴らしかったのですが、演説を行った候補者や責任者の質の高さに驚かされました。小学生はこんなにも立派に演説ができるのかと、感動さえ覚えるほどの立会演説会でした。立候補してくれた児童、責任者になってくれた児童、そして活動を支えてくれた選挙管理委員会の児童全員に大きな拍手を送りたいと思います。

相川小学校のDX 児童と向き合う時間を確保するために

デジタルによる変革



現在、相川小学校におきましても、デジタル化による業務の仕組みの変革に取り組んでいます。その目的は、職員が児童と向き合う時間の確保です。あまりにも多くの業務が課せられ、児童に向き合ったり、教育活動の準備をしたり、研修に取り組んだりなど、教師としての本務に取り組む時間が確保できない状況が続いていました。デジタル化により、教師としての本来の業務に取り組む時間が確保できつつあります。

本年度より、欠席届と通知の配付をデジタル化させていただきました。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝しております。

欠席届の電子化により、朝の電話対応の時間が削減され、学級担任は一日のスタートを児童とともに過ごすことができるようになりました。

学校から保護者の皆様へ配付する通知の電子化では、職員の業務改善だけでなく、用紙の節約や印刷費用の削減を実現することができました。11月までの統計では、39,431枚の用紙を節約することができました。用紙代と印刷費用を合わせると、249,204円の削減になります。

今後も、DXによる業務改善に積極的に取り組み、教育活動に専念できる本来の学校の姿を取り戻していきたいと考えております。

文責：校長 桐山 賢一